

(一財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は2月8日の前回定時記者会見以降の動きについてご報告いたします。

1. 「野菜・果物の店頭POP表示」はスーパーマーケットトレードショーでお披露目できました

野菜で健康推進部会では、野菜・果物の店頭POP表示の社会実装プロジェクトを「Y-POP」と名付けて、スーパーマーケットの全国団体等の協力を頂いておりますが、この度、(一社)全国スーパーマーケット協会様のご厚意により同協会主催の「スーパーマーケットトレードショー2022」の協会コーナーに無償出展ブースのご提供を頂き、2月16日～18日の3日間、幕張メッセで、この1年半取り組んできたサンドボックス実証実験の成果を披露することができました。

コロナ禍にも拘らず、トレードショーには約43,000人の来場者があり、当部会のブースには実証実験参加企業のトップやWEB参加企業から好意的な評価等がもたらされた旨、報告がありました。同部会では今後、3月23日(水)午後を皮切りに、Y-POPのオープンデー参加を広く呼び掛け、キャンペーンを広げていきたいと考えています。



2. 「減らせ突然死 救命・AED 機器推進部会」は「ファーストエイド推進部会」に衣替えします

旧部会は、部会名称を「ファーストエイド推進部会」とし、目的を広義に捉え、AED普及はその一環に位置付けることによって、AED以外を含めた一層の救命・救護環境の整備に努めることになりました。具体的には、ファーストエイド(FA)の定義とカテゴリー分類を見直した上で、eラーニングを含む新たなFA普及プログラムの提案、部会構成メンバーの拡大、必要なFAデータベースの構築、大阪万博を契機としたPR活動の展開、サンドボックス制度等を活用したFAの政策提案、日本救護救急学会殿との連携強化等を計画しています。なお、旧部会の活動成果はそのまま継承いたします。

この度、新部会の部会長に(一社)日本薬業研修センター 医薬研究所の堀美智子所長、AED小部会の部会長にオムロンヘルスケア(株)事業推進部の岩田和也部長、FA小部会の部会長にウエルシアホールディングス(株)の本橋勝部長が就任され、岩田・本橋両小部会長は親部会の副会長も兼任されます。新部会は、2月、3月と準備会を積み上げ、4月15日の第3回準備会を経て、FAに関連する多くの関連メーカー、多様な業界団体等にも呼び掛けを行い、正式発足の運びです。

3. お米で健康推進部会は活動内容の広範なキャンペーンのために急速DVD制作に取り組みます

野菜・果物のみならず、人々が日々口にする日常的食物の内容や栄養的な価値の向上を図ることが真の健康増進につながるという基本的な考え方に立って、当協会は昨年9月に「お米で健康推進部会」を発足させました。年末には、定時記者会見に同部会の柏原ゆきよ部会長に登場頂き、ご飯食に対する誤ったイメージの払拭と、ご飯復権への健康価値を改めて発信頂きました。

管理栄養士として医療機関を含めて多くの人の食事、食生活をサポートしてきた柏原部会長の立場から見れば、現場におけるコメのイメージは大変悪く、医療機関等で健康面の指摘を受けると、まずコメの摂取を控えるなどの短絡的な反応が多い、ところがコメを控えても改善しないどころか悪化するケースが多いことに気付かされるということです。

糖質制限ダイエット、糖尿病リスクなどでコメ消費を悪者扱いすることが多い情報発信に対しては科学的な根拠に基づいて誤りを正していくことが健康面でも、また生産面でも、さらには農地を中心とする国土保全面からも焦眉の急と考える同部会では、この度、「日本人の健康長寿の源は『ごはん』にあり! (仮題)」と名付けたDVDを急速制作し、広く社会に公表するとともに、同部会と連携して展開する「お米で健康イニシアティブ」推進のツールとする計画です。

ちなみに、同イニシアティブは、4月9日(土)赤坂を舞台にセミナーの他、イベントを開催する計画です。